

わたしたち加入者のための インセンティブ制度

平成30年度から導入された、**加入者の皆様の取組みを2年後の健康保険料率に反映させる仕組み**です。
47都道府県支部を順位付けし、**上位23支部に入ると報奨金の付与による健康保険料率の引き下げ**を受けることができます（令和4年度実績からは上位15支部が対象となります）。

・上位23支部（令和4年度実績からは上位15支部）に入れないと健康保険料率が上昇する要因のひとつとなります。

令和2年度実績	支部の拠出額 (A)	報奨金 (B)	負担額 (A-B)
総合評価1位支部	7,100万円	6億100万円	▲5億3,000万円
山梨支部 (全国11位)	4,100万円	1億6,700万円	▲1億2,600万円



詳細はこちらから

※ 令和4年度予算ベース（端数は省略）

健康保険料率の引き下げを実現するためにわたしたち加入者ができる5つのこと

1 健診を毎年受診する

- ① 生活習慣病予防健診（被保険者様用）または特定健康診査（被扶養者様用）を受診する。
- ② 事業者健診の結果（40歳以上）を協会けんぽに提供する。

2 保健指導を利用する （対象者のみ）

健診結果で保健指導が必要と認められた場合は、保健指導を利用することで、保健師・管理栄養士と一緒に健診結果の改善を目指し、ご自身で継続的な生活習慣の改善に取り組む。

3 健診結果等を参考に 生活スタイルを見直す （食事改善・適度な運動等）

保健指導の対象とならないために、食事に注意したり、適度な運動を心掛ける等、より健康を意識した生活スタイルを目指す。

4 健診結果で要治療または 要再検査となったら早急に 医療機関を受診する

要治療または要再検査となった場合、早急に医療機関を受診し、かつ必要な治療を受ける。早期発見・早期治療によって、症状の重症化（悪化）を未然に防ぐ。

5 お薬の処方を受けるときは ジェネリック医薬品を選択 する

ジェネリック医薬品を利用してお薬代の節約に努める。新薬（先発医薬品）に比べ3割～5割程度、お薬によってはさらに安くなるケースもあります。

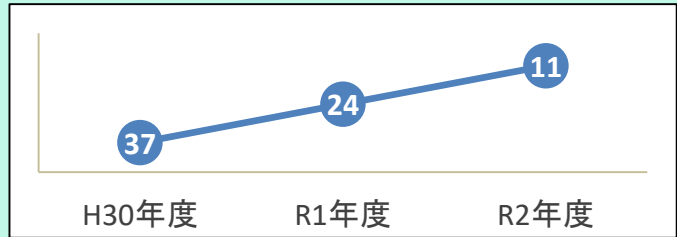
ジェネリック医薬品解説用の動画も用意しています。あわせてご参照ください。



～山梨支部加入者様の状況は裏面をご参照ください～

インセンティブレポート (山梨支部加入者様)

総合順位 **11位** / 47支部



加入者の皆様のご協力により、初めて上位支部に入りました。引き続きご協力をお願いします。

※各項目の順位は、令和2年度実績データ(確定値)の「実績」、「上昇幅」等に基づき決定しております。

1 特定健診等の受診率

(健診を毎年受診する)

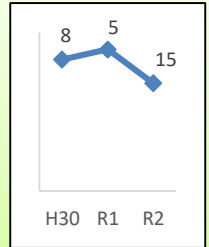
健診受診率は全国平均を上回っています。
引き続き健診の確実な受診をお願いします。



15位

前年度からの上昇幅が伸び悩んだため順位が少し下がりました。
高い受診率を維持していく必要があります。

受診率 **5位**
受診率対前年度上昇幅 **38位**
受診件数対前年度上昇率 **34位**



2 特定保健指導の実施率

(保健指導を利用する)

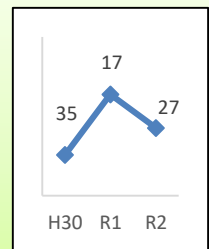
保健指導を必ず受けましょう。
保健師・管理栄養士のサポートを受けることができます。



27位

実施率が昨年度より低下したため順位が下がりました。保健指導を受けていない方の実施が必要です。

実施率 **24位**
実施率対前年度上昇幅 **18位**
実施件数対前年度上昇率 **21位**



3 特定保健指導対象者の減少率

(健診結果等を参考に生活スタイルを見直す)

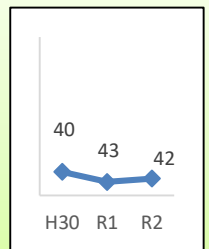
保健指導を活用しながら、生活習慣の見直しを心がけていきましょう。
(体重管理・定期的な運動・禁煙等)



42位

極めて低い順位で推移しています。
多くの方の健診結果が改善されていません。
生活習慣の見直し、健康管理の徹底が必要です。

減少率 **42位**



4 要治療者の医療機関受診率

(健診結果で要治療または要再検査となったら早急に医療機関を受診する)

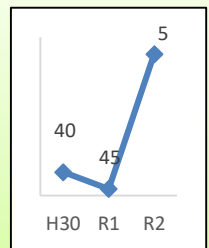
医療機関への受診を怠って治療が遅れると大変危険です。速やかな受診をお願いします。



5位

健診結果に基づいて受診された方が増えたため、順位が大幅に上がりました。
今後も対象の方は早急に受診する必要があります。

受診率 **13位**
受診率対前年度上昇幅 **3位**



5 ジェネリック医薬品の使用割合

(ジェネリック医薬品を選択する)

お薬の処方を受けるときは、ジェネリック医薬品をご選択ください。



1位

前年度からの上昇幅は高い順位で推移しています。
しかし、使用割合は低位から中位ですので、さらなる向上が必要です。

使用割合 **31位**
使用割合対前年度上昇幅 **1位**

